

物流現場改善活動に関する実態調査

1. アンケート調査の実施目的について

我が国は本格的な人口減少社会に突入し、物流業界においては、労働者減少に伴うトラックドライバー不足や倉庫内作業員不足等の問題を抱え、さらには、消費者ニーズに対応した高度かつ多様な物流サービスを提供するために、労働者の長時間労働が発生しており、働き方改革も求められています。

このように経済の動脈である物流の維持が困難な状況に陥りつつある状況を乗り越えるためには、労働者の減少を「物流生産性向上」で補うことが不可欠であり、物流生産性向上を実現させる重要な活動のひとつが「物流現場改善活動」です。

日本ロジスティクスシステム協会では、企業がどのような物流現場改善活動に取り組んでいるのか、また、物流現場改善活動をどのように定着や活性化させているのか等の実態について把握することを目的に調査を実施いたします。そして、本調査結果を講演会や当協会のホームページ等を通じて多くの企業へフィードバックいたします。

つきましては、趣旨をご理解のうえ、下記のアンケート調査にご協力をいただきたく、何卒、ご理解とご協力を、お願い申し上げます。

※本調査結果は全て統計的に処理し、集計結果として取り扱い、回答企業および個人が特定されるような形で公表されることはございません。また、本実施目的以外に使用することはございません。

【問い合わせ】

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 坂口・中山・五関
TEL : 03-3436-3191 e-mail : kaizen@logistics.or.jp

2. アンケートの構成と回答について

アンケートでは以下に示す組織マネジメントの課題（7項目）に関する現在の貴社の物流現場改善への取り組みについてお伺いいたします。

回答にあたっては、貴社の物流現場改善活動の全体についてご回答ください。不明な点は関係各位にご確認のうえご回答をお願いいたします。（1社1回答になります。）

- 1) 物流現場改善の取り組み状況について
- 2) 戦略、方針、目標について
- 3) 構造・体制について
- 4) 制度・仕組みについて
- 5) 人材育成について
- 6) 社風・コミュニケーションについて
- 7) 物流改善活動における企業間連携や ICT 等の先進技術の活用について

【ご回答者】

会社名	
所属・役職	
名前	
住所	
E-mail	
TEL	〒

1) 業種(最も当てはまるものを1つお選びください)

- 製造業
- 卸売業
- 小売業
- 物流業
- 物流子会社
- 情報システム業
- その他 (自由記述)

2) 従業員数

(1) 全従業員数 (正社員・契約社員・パートタイマーを全て含む)

- 50 人以下
- 50 人超～100 人以下
- 100 人超～300 人以下
- 300 人超～1000 人以下
- 1000 人超

(2) 物流関連業務に携わる従業員数 (正社員・契約社員・パートタイマーを全て含む)

約 人

3) 物流拠点数

約 拠点

4) 物流業務形態

- 自社運営が中心
- 業務委託が中心

5) 資本金

- 5,000 万円以下
- 5,000 万円超～1 億円以下

- 1 億円超～3 億円以下
- 3 億円超

設問1 物流現場改善の取り組み状況についてお伺いします。

Q1-1 物流現場の改善活動の定着状況についてお聞かせください。(1 つお選びください)

- 改善活動が全社的に定着している
- 改善活動は行っているが定着しているのは一部である
- 改善活動は行っているが定着していない
- 物流現場改善の必要性は理解しているが取り組めていない(設問5以降をご回答ください)
- 物流現場改善の必要性を感じていないため取り組んでいない(設問5以降をご回答ください)

Q1-2 物流現場改善に取り組む目的をお聞かせください。(複数回答可)

- 収益性を向上させるため
- 物流品質を向上させるため
- 現場士気・ES(従業員満足度)を向上させるため
- 庫内作業者の定着率を向上させるため
- ドライバーの定着率を向上させるため
- 効率化でドライバー不足に対処するため
- 効率化で庫内作業者不足に対処するため
- 業務環境の安全性の向上のため
- 荷主からの要請に応えるため
- 荷主へのアピールポイントとするため
- 営業活動上のアピールポイントとするため
- 人材育成のため
- その他(自由記述)

Q1-3 物流現場改善で活用している手法をお聞かせください。(複数回答可)

- アンケート調査
- ヒアリング調査
- ブレーンストーミング
- KJ 法
- QC7 つ道具(特性要因図、チェックシート、パレート図、ヒストグラム、散布図、管理図、グラフ)
- 新 QC の 7 つ道具(連関図表、親和図法、系統図法、マトリックス図法、アローダイヤグラム法、マトリックスデータ解析法、PDPC 法)
- IE(工程分析・作業分析・動作分析、稼働分析(ワークサンプリング))

- SWOT 分析
- OR 手法（線形計画法、シミュレーション等）
- 統計的な分析手法（回帰分析、主成分分析、クラスター分析等）
- 5S
- ムダ・ムラ・ムリ
- 5 回のなぜ
- その他（自由記述）

Q1-4 物流現場の改善活動の効果はでていますか。(1 つお選びください)

- 大きな効果が出ている
- ある程度の効果が出ている
- どちらともいえない
- あまり効果が出ていない
- まったく効果がでていない
- 効果を把握できていない

Q1-5 物流現場の改善活動を推進する際に、特に課題となっている事項をお聞かせください。(複数回答可)

- 戦略、方針、目標の設定
- 組織構造・組織体制
- 制度・仕組みの構築
- 人材育成
- 社風・コミュニケーション
- 物流改善活動における企業間連携や ICT 等の先進技術の活用
- その他（自由記述）

Q1-6 物流現場の改善活動を定着・継続させるうえで、特に有効な事項をお聞かせください。(複数回答可)

- 戦略、方針、目標の設定
- 組織構造・組織体制
- 制度・仕組みの構築
- 人材育成
- 社風・コミュニケーション
- 物流改善活動における企業間連携や ICT 等の先進技術の活用
- その他（自由記述）

設問2 戦略、方針、目標についてお伺いします。

Q2-1 物流現場改善に関する戦略、方針、目標がありますか。(複数回答可)

- 企業全体で戦略、方針、目標がある
- 部署、部門レベルで戦略、方針、目標がある
- 現場レベルで戦略、方針、目標がある
- 戦略、方針、目標はない (Q2-4 へ)
- その他 (自由記述)

Q2-2 物流現場改善に関する戦略、方針、目標は従業員に共有されていますか。(1 つお選びください)

- 全員に共有されている
- 一部に共有されている
- あまり共有されていない (Q2-4 へ)
- 共有されていない (Q2-4 へ)

Q2-3 戦略、方針、目標を従業員に共有するために実施していることがあればお聞かせください。(自由記述)

Q2-4 物流現場改善活動後に評価は行われていますか。(1 つお選びください)

- 管理指標を明確にして評価を行っている
- 管理指標は明確になっていないが評価を行っている
- 評価は行われていない

設問3 構造・体制について

Q3-1 物流現場改善活動の推進状況についてお聞かせください。(1つお選びください)

- 改善活動の推進はトップダウンで進む傾向が強い
- 改善活動の推進はボトムアップで進む傾向が強い
- トップダウン・ボトムアップどちらの傾向もある
- トップダウン・ボトムアップのどちらの傾向もない
- その他 (自由記述)

Q3-2 経営陣や管理職が、どの程度改善活動に係わりを持っていますか。(複数回答可)

- 経営陣が指示を出すなど積極的に改善活動に係わっている
- 部門長・センター長が指示を出すなど積極的に改善活動に係わっている
- 現場における課・所属長が指示を出すなど積極的に改善活動に係わっている
- 経営陣や管理職は主に改善経過や結果の報告を受けて評価を行うことで係わっている
- 経営陣や管理職は改善活動に積極的な関わりは持っていない
- その他 (自由記述)

Q3-3 物流現場改善活動はどの単位で行っていますか(複数回答可)

- 企業全体で改善活動を行っている
- 物流関連部署・部門で改善活動を行っている
- 物流センター単位で改善活動を行っている
- 現場・小集団単位で改善活動を行っている
- 個人まかせで改善活動を行っている
- その他 (自由記述)

Q3-4 物流現場改善活動をマネジメントする部署や担当者を設けていますか。(複数回答可)

- 全社的に改善活動をマネジメントする部署や担当者を設けている
- 物流関連部門や物流センターで改善活動をマネジメントする部署や担当者を設けている
- 改善活動をマネジメントする部署や担当者を設けていない
- その他 (自由記述)

Q3-5 改善活動に関してのコンサルタント等の協力についてお聞かせください。(1つお選びください)

- 改善活動に関して、常にコンサルタント等に依頼をしている
- 改善活動に関して、コンサルタント等に依頼することもある
- 改善活動に関して、コンサルタント等に依頼をしたことがあるが今は依頼をしていない
- 改善活動に関して、コンサルタント等に依頼をしたことはない
- その他 (自由記述)

設問4 制度・仕組みについて

**Q4-1 改善活動を推進するために取り入れている制度や仕組みとその有効性についてお聞かせください。
該当する口にチェックを入れてください。**

	取り入れている	物流改善活動推進に有効である
1. 目標管理の実施 (例：面談で目標を明確にする／当日の作業目標を明確にする)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 改善活動や成果に対して表彰している (例：表彰状を渡す)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 改善活動や成果に対して報奨金や一時金を渡している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 改善成果と連動した人事評価制度がある (例：昇給／昇進)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 改善活動や成果を公表している (例：社内報への掲載／壁に掲示)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. ジョブローテーションを実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q4-2 社内で改善提案制度はありますか。(1つお選びください)

- 改善提案は義務化されている
- 公募による改善提案制度がある
- 改善提案制度はないが、自主的に改善活動は実施されている
- 改善提案制度はない
- その他（自由記述）

Q4-3 社内で物流改善事例の発表会を開催していますか。(1つお選びください)

- 開催している
- 過去に開催していたが、今は開催していない（Q4-5へ）
- 開催していないが、今後開催したい（Q4-5へ）
- 開催していない（Q4-5へ）

Q4-4 発表会の開催時期、発表事例数、参加人数についてお聞かせください。複数開催している場合は行を分けて記入してください。(記入例：発表会 1 開催時期○月、発表事例数○事例、参加人数○人、会社 or 部門単位)

- 発表会 1
- 発表会 2
- 発表会 3

Q4-5 社外で物流改善事例の発表をしていますか。(複数回答可)

- 社外で開催される改善事例発表会（例：全日本物流改善事例大会等）で発表している
- グループ会社・協力会社・関連会社と合同で開催されている発表会で発表している
- 業界団体等が主催の発表会で発表している
- 学会や社外の会合等の際に発表している
- 社外で発表をしていない
- その他（自由記述）

Q4-6 物流現場改善の取り組み内容や成果を社内でどのように情報共有していますか。(複数回答可)

- 社内報や回覧
- 現場の掲示板に掲示
- 社内イントラネットへの掲載
- 社内メーリングリスト・E-mail での情報発信
- 社内発表会の開催
- 改善活動に関するデータベースの構築
- 自社のホームページへの掲載（社内外への情報発信）
- メールマガジンでの情報発信（社内外への情報発信）
- 取り組み内容や成果は共有されていない
- その他（自由記述）

設問5 人材育成についてお伺いします。

Q5-1 物流現場改善活動を推進するために人材育成を行っていますか。(複数回答可)

- 経営陣が中心となって人材育成を行っている
- 人事部や人材育成担当部門が中心となって人材育成を行っている
- 物流・ロジスティクスを管理している部門が中心となって人材育成を行っている
- 物流センター毎に人材育成を行っている
- 現場の小集団、チーム毎に人材育成を行っている
- 人材育成は行っていない(設問6へ)
- その他

Q5-2 人材育成は誰に対して行われていますか。(複数回答可)

- 管理者を対象に物流現場改善活動に関する人材育成を行っている
- 現場責任者(非作業員)を対象に物流現場改善活動に関する人材育成を行っている
- 現場リーダーを対象に物流現場改善活動に関する人材育成を行っている
- 現場作業員(社員・パート・アルバイト等)を対象に物流現場改善活動に関する人材育成を行っている
- 協力会社を対象に物流現場改善活動に関する人材育成を行っている
- その他

Q5-3 人材育成はどのような手法で行っていますか。(複数回答可)

- 自社社員が講師を担当する社内研修を実施している
- 外部講師が講師を担当する社内研修を実施している
- 社内の通信教育・eラーニングを活用している
- 社外研修を活用している
- 社外の通信教育・eラーニングを活用している
- OJTで実施している
- 自習形式(自己啓発)で実施している
- その他(自由記述)

Q5-4 どのような内容に関する教育を行っていますか。(複数回答可)

- 物流現場改善の進め方
- 5S
- 問題発見手法
- 物流現場調査手法(ワークサンプリング、連続観測法等)
- 科学的管理・分析技法(IE、QC等)
- データ分析
- 改善提案書や改善計画書の作成方法

- 評価指標の設定
- 改善効果の把握方法
- ICT 技術の活用方法
- リーダーシップ
- コミュニケーション
- プレゼンテーション
- その他（自由記述）

Q5-5 物流現場改善活動を推進するための教育予算を確保していますか。(1 つお選びください)

- 毎年度確保している
- 確保する年度もある
- 確保していない
- その他（自由記述）

設問6 社風・コミュニケーションについてお伺いします。

Q6-1 社内のコミュニケーションについてお聞かせください。(複数回答可)

- 全社的にコミュニケーションは円滑である
- 経営陣が積極的に物流部門や物流現場とコミュニケーションを取っている
- 部門間のコミュニケーションが取れている
- 部門内のコミュニケーションが取れている
- 小集団やグループ内のコミュニケーションが取れている
- 全社的にコミュニケーションは円滑でない
- その他 (自由記述)

Q6-2 職場環境についてお伺いします。

当てはまるものすべてにチェックをつけてください。(複数回答可)

- 管理者と部下の信頼関係がある
- わきあいあいとした雰囲気がある
- 従業員のチームワークがよい
- 業務の内容や目標、業務の仕方等について議論が活発に行われている
- 従業員を対象としたイベントを開催している
- 従業員の家族も対象としたイベントを開催している
- 管理者のリーダーシップが不足している
- 管理者が物流現場に足を運ぶ回数が少ない
- 報告、連絡、相談は対面で行われることが多い
- 報告、連絡、相談はメールを使用して行われることが多い
- 若い社員と年配の社員の交流が少ない
- 他人に対して無関心な人が多い
- 対人関係などに関連した対立や衝突がある
- 社員間の競争が激しい
- 過程よりも結果を重んじる雰囲気がある (成果主義)
- 立場が上の人意見には、異を唱えにくい雰囲気がある
- ベテラン作業員の意見には、異を唱えにくい雰囲気がある
- 社内ルールや決まり、慣習等に厳しい雰囲気がある

Q6-3 社内や部署内のコミュニケーションを円滑にするために実施していることがあればお聞かせください。

(自由記述)

設問7 物流改善活動における企業間連携やICT等の先進技術の活用についてお伺いします。

Q7-1 物流業務の【委託先】と連携して物流改善活動を実施しているケースはありますか。

(1つお選びください)

- 委託先と連携して実施しているケースがある
- 委託先と連携しているケースはない
- 物流業務の委託はしていない
- その他

Q7-2 物流業務の【委託元】と連携して物流改善活動を実施しているケースはありますか。

(1つお選びください)

- 委託元と連携して実施しているケースがある
- 委託元と連携しているケースはない
- 物流業務の委託はされていない
- その他

Q7-3 物流業務の業務依頼先または依頼元との連携体制についてお聞かせください。

(複数回答可)

- 物流現場改善に関して定期的に合同ミーティングを行っている
- 改善に必要な情報を相互に提供している
- Service Level Agreement (合意サービス水準) を締結している
- 物流現場改善に関する共通の指標 (KPI) を設けて管理している
- 連携体制はない
- その他 (自由記述)

Q7-4 IoT、ビッグデータ、人工知能、ロボット技術、ドローン等の先進技術の活用についてお聞かせください。

(1つお選びください)

- 既に活用している
- 活用はしていないが、その検討は行っている
- 必要性を感じているが、活用に向けた検討は行っていない
- 検討していない

設問8 JILS が実施している物流改善活動に関連する事業についてお伺いします。

Q8-1 JILS が実施している物流改善活動に関連する事業についてお聞かせください。

(※ 各事業の詳細については、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.logistics.or.jp/subdivision/index.html>)

	知らない	知っている	活用したことがある	活用している
1. 物流現場改善士資格認定講座				
2. 物流現場改善に関するセミナー				
3. 物流改善事例大会・発表会				
4. 診断プログラム(物流現場リーダーキャリアアップ診断、問題発見・現場活性化サイクルチェックリスト)				
5. 物流現場改善推進のための手引書				
6. 物流現場の見学会				
7. 物流現場改善事例集 (web)				
8. 物流合理化賞 受賞事例集 (冊子)				
9. 物流現場改善ポータルサイト				

Q8-2 貴社の物流現場改善活動における課題やお困りごとがございましたら、ご記入ください。(自由記述)

質問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。